

町長は東郷町の将来像を示せ

箕浦 克巳 議員



【問】 施政方針は何に注力して作成したか。何度読んでも分からない。

【町長】 施政方針は22年度予算をどう組んだか考えを述べた。任期に合わせたいので、何をやるかは総合計画で取組みたい。

【問】 単年度の収支均衡を見るプライマリーバランスの達成年度は。

【町長】 歳出カットの荒療治はできない。財源のめどが上向いた時と考えるので、直近では難しい。

【問】 本町の将来像は。

【町長】 個人としては新しい枠組みが必要と考える。背景は国が10万都市を指しているからだ。

特定検診の受診者対策

【問】 平成25年度までに受診率65%を達成しないとペナルティがあるが。

【健康部長】 新年度検査項目に尿酸値や腎機能を加え、受診増を図った。

【問】 いこまい館のトレーニングジムの町民と町外

者の利用率は。
【健康部長】 町内71% 町外25%、在勤27%、在学0%の割合だった。

介護現場の声を大切に

【問】 介護予防の拡充を図るべきだが、今後の取り組みは。

【福祉部長】 一般高齢者向け、特定高齢者向けの課題を踏まえ、充実した内容をめざしていきたい。

【問】 高齢者の在宅生活の居住性や安全性の確保のために、一般会計で事業展開できないか。

【福祉部長】 今後の高齢者福祉の施策として参考としたい。



福祉センターのデイサービス

まちの財政健全と 予算編成における基本理念は

星野 靖江 議員



【問】 22年度予算編成の重要なポイントは。

【総務部長】 全職員が徹底した合理化・効率化に努め、選択と集中の理念で事業編成作業に努めた。

【問】 その理由は。

【総務部長】 不安定な経済状況のため、住民生活に影響を及ぼさないよう最小限に留めた。

【問】 多様な住民ニーズを的確に判断するには、総合点検や部門別評価が必要不可欠。その見解は。

【企画部長】 住民満足度を高め、緊急度・優先度を取捨選択しコスト意識を考慮し努める。

資源回収ステーションの回収品目の拡大計画は

【問】 拡大計画の現状とその取組みは。

【生活部長】 回収品目の拡大は2月からCD・DVDケースを試験的に回収。特に問題がなければ4月から正式に回収する。

【問】 今後の拡大案は。

【生活部長】 今後は封書、はがき、再生紙等の回収に向け中間処理業者と調整し、住民がリサイクルしやすい拡大計画を検討したい。

放課後子ども教室と居場所づくり

【問】 将来的計画は。

【教育部長】 全小学校区実施の方向で検討したい。

【問】 22年度開設の高嶺小学校区内の取組みは。

【教育部長】 地域性もあるが今後の課題としたい。安全管理面は防犯カメラを設置。日常時は連絡体制・応急処置など実施。マニュアルを設定する。



回収品目が増えました